

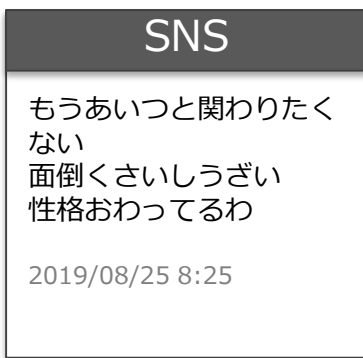
誹謗中傷の書き込みについて

SNSや掲示板などのインターネット上のサービスでは、誰でも手軽に自分の気持ちや考えを書き込むことができます。しかしその手軽さゆえに、問題のある書き込みをしてしまう人も少なくありません。そうした問題のある書き込みの中の一つに、他者に対する誹謗中傷の書き込みがあります。

インターネット上の誹謗中傷の書き込みの例

インターネット上の誹謗中傷の書き込みには、例えば以下のようなものがあります。

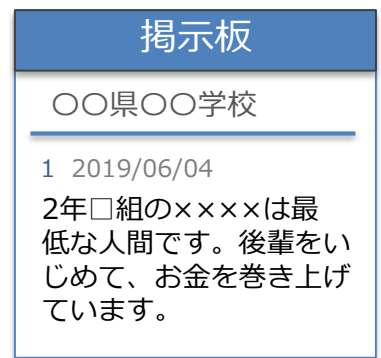
- ・対象の人物をあかさずに中傷したもの
- ・友だちの写真を載せ、冗談半分に悪口を書いたもの
- ・嫌がらせ目的で嘘の悪評を書いたもの



中傷の対象が誰かわからないので、書き込みを見た人が「自分のことかも」と考え、人間関係が悪化する可能性があります。



冗談のつもりでも、対象の人物が怒ったり傷ついたりする可能性があります。また、書き込みを見た第三者からいじめと疑われることもあります。



書き込みがエスカレートして、いじめやトラブルに発展してしまう可能性があります。

自分が誹謗中傷を書き込まれたときは

もしインターネットに誹謗中傷を書き込まれてしまった場合は、反論するような書き込みをするのではなく、すぐに周りの大人たちに相談するよう、子どもたちに注意しておく必要があります。子どもたちから相談されたら、以下のような対応を検討してください。

- ・書き込んだ人が誰かわかっている場合
先生を通じて、書き込んだ本人に書き込みを削除してもらう
- ・書き込んだ人が誰かわからない、またはわかっているが削除に応じたくない場合
問題の書き込みがあったサービスの管理者や運営会社に連絡し、削除要請をおこなう

誹謗中傷の書き込みは、現実世界にも大きな影響を与える可能性があります。子どもたちには、面と向かって言えないことはインターネットにも書きこまないこと、自分の書き込みが周囲にどんな影響を与えるか考えてから書き込むことを意識してインターネットを利用するよう指導していくことが大切です。